

やんばら

2015
第20号

私たちは、24 時間
質の高い医療を提供し
皆様に、
安心・信頼・満足
していただける
病院をめざします。

北九州市立八幡病院 職員一同

Index

巻頭言	1
総務大臣表彰を受賞して	2
内科.新体制!	3-4
やわらか食感 ソフト食	5
放射線検査予約の土曜受付開始について	5

診療科紹介.整形外科	6
医療連携室のご紹介	6
編集後記	6
診療体制表	裏表紙

巻頭言



病院長 市川 光太郎

春遠き日々と思わざるを得ない日が続いていましたが、ようやく、春になると天気予報が伝えてくれた本日です。またすぐに、否応ない惜別と嬉しい出逢いに心が揺れる春がまたやってきます。今年も大事な人との別れを迎えるであろうが、永久であってなくても「別れ」という現象はヒトの心に新たに「思い出」を創り出すものであろう。そのような「別れ」が病院の内外で実感できるコミュニケーション能力を日頃から醸成しておかねばならない。

「餞別(せんべつ)」という熟語の「餞」という字はPCで「はなむけ」と打ち込むと変換される。万葉集では「餞」という文字に「うまのはなむけ」という意味を与えています。「餞送」という言葉もあり、「遠く旅立っていく者を送る」という意味があるらしい。また、「餞春」という単語もあるそうで、旅立っていく春を餞る(おくる)という意味とのこと。さらに、古今集では阿倍仲麻呂が中国から帰国する際に、「うま

のはなむけ」をしてもらったという記述が残っています。このことは別れを惜しんで「餞宴」を催したとの記載があります。一定の期待をされたヒトがそのような催しを受けていたということに他ならないのでしょうか。「うまのはなむけ」という言葉には「旅人を乗せた馬の鼻を旅先に向けること」を意味すると言われています。すなわち、旅立つ者が餞=食膳を設けて送り出される者であり、騎乗して旅をする者であったと考えられています。

別れの春は出逢いの春と考えれば、残るヒトへの癒し・慰めもあっても良い想いがします。が……、現実的には余り聴かないことです。

さて、病院のベクトルをどの方向に向けて行くのか、本当に難しい時代であり、日本の医療政策がどのような方向へ歩き出すのかをこの数年しっかり見極め、新病院へ夢を託せねばならない。多くの市民、そして地域の医療界から期待されての新病院であることを自覚し、現病院から別れて新病院へ移行する病院は送られる立場であり、いわゆる「餞」をどう捉えるかが、今後の病院幹部に課せられた大きな宿命であると感じています。よくよく深考し、後輩や次世代の人達のための新病院の「うまのはなむけ」を決めていかねばと考えてしまう春の日々です。

基本方針

1. 医療の安全に万全を期し、科学的根拠に基づき、質の高い医療を提供します。
2. 患者さんの生命の尊厳とプライバシーを守り、患者さん中心の医療を行ないます。
3. 保健・福祉・医療機関と連携し、地域社会への積極的な医療貢献を果たします。
4. 教育・研鑽に努め、専門的な知識、熟練した技能をもって、信頼と責任ある医療を提供します。
5. 公共性、経済性を考慮した健全経営に努めます。



高市総務大臣による表彰状授与(9月9日)

総務大臣表彰を受賞して

北九州市立八幡病院 副院長 伊藤重彦

このたび思いもかけず、救急功労者総務大臣表彰を頂きましたことは、身に余る光栄です。これも長年にわたりご指導を頂きました皆様方のお蔭であり、心より御礼申し上げます。デング熱騒動のなか、平成26年9月9日(救急の日)に皇居近くの会場で授賞式があり、組閣直後の高市総務大臣から表彰状を頂きました。11月15日(土)の祝賀会では、発起人の労をおとり頂いた市川院長、白石八幡医師会会長、津田遠賀中間医師会会長に感謝いたします。また、土曜日のお忙しい時間にも係わらずご臨席を賜りました皆様方に、御礼申し上げます。

思えば八幡病院着任が昭和62年4月なので、今年で勤続28年になります。実は八幡病院着任の前日(3月31日)に、学会で滞在していた福岡市で腸炎イレウスを発症し、福岡市内の救急病院に1泊し、翌日八幡病院に着いて直ぐに緊急胃カメラを受けたことを覚えています。これが八幡病院着任最初の救急診療の経験でした。

2004年に救命救急センター長を拝命してからの

10年間は、北九州地域の救急医療体制、メディカルコントロール体制の構築に携わってきました。2008年に運用が始まった救急ワークステーションは、立ち上げの時から係わってきましたが、消防局職員のご尽力で、いまでは全国ナンバーワンのステーションとして、注目されています。2011年の東日本大震災のときは、北九州市医師会のご英断で、北九州JMATが全国に先駆け、福岡県のトップバッターとして被災地へ出動しました。そのときの貴重な経験から、災害医療研修センターを立ち上げ、災害医療に深く関わることになりました。また、北九州市の耐性菌VREのアウトブレイクをきっかけに、2002年からNPO法人KRICTの一員として、医師会や保健福祉局の方々と一緒に地域感染対策にも携わっています。いままエボラウイルス病対策に追われているところです。このように、多くの方々との出会いが、いまの私の医療活動につながっています。本当にありがたいことです。

2011年に市川院長が小児救急で厚生労働大臣表彰を受賞され、今回救急医療で総務大臣表彰を受賞できました。八幡病院の担うべき医療機能が国に認められることは、今後の励みになります。今後とも、救急医療、災害医療、地域感染対策を通じて、地域のお役に立てるようがんばりますので、よろしくお願い申し上げます。

末筆ながら日々の救急業務にご尽力頂いている八幡病院スタッフの方々に、心より感謝申し上げます。



北九州市長への表敬訪問(9月17日)



記念祝賀会(11月15日)

高齢化、多様化に対応できる内



平成 27 年 2 月撮影

内科領域の疾患の多様性は、主として高齢化による生活習慣病や悪性疾患を持った患者が、新たな疾患に罹患して来院することが主因です。待ち受ける病院側に必要なことは、①主たる疾患群をカバーできる専門家が揃うこと ②一人一人が、自己の専門のみならずcommon diseaseに精通する総合内科医であること ③自己の意見にこだわらず広く周囲に意見を求める人柄であること ④お互いにバックアップすることをいとわない柔軟性を持つことと思います。

平成26年度より、内科9名 循環器内科8名の計17名の新しい内科でスタートしています。市立八幡病院の新しい内科を宜しく願い致します。

日本糖尿病学会専門医

中村 寛

なか むら かん

劇症1型糖尿病は、1週間から数日間でインスリン分泌が枯渇し見逃すと重症糖尿病性ケトアシドーシスや急性腎不全に陥り致命的な疾患です。また上気道炎や腸炎などのウイルス感染が先行することがほとんどであり、疑わなければ診断に辿り着かない疾患です。単純なウイルス感染にしてはちょっと変だなと思われたら血糖・尿糖測定することが大切です。いつでも、ご相談ください。

日本消化器内視鏡学会認定医

川口 浩太郎

かわ ぐち こう たろう

総合病院に求められる消化器内科の役割は、なるべく迅速に適切な検査を行って診断をつけ、治療方針を明らかにする事と思っています。必要な画像検査は、可能な限り来院当日に施行するよう努力しています。ご紹介頂いた患者さんには真摯に対応させて頂き、内視鏡検査時はご希望により鎮静剤やCO2ガス送気を用いて苦痛のない検査を心がけています。今後も地域医療のために尽力させて頂く所存ですので、何卒よろしくお願い申し上げます。

科の陣容が揃いました

副院長 太崎 博美

日本呼吸器学会呼吸器専門医

吉田 有吾

よし だ ゆう こ

呼吸器科は平成25年7月より3人体制となりました。増員にともない、週一回しか行えなかった気管支カメラが、曜日を問わず行うことが可能となりました。もっとも得意とするのは急性呼吸不全に対する呼吸管理です。カメラ同様呼吸不全もいつでも対応可能です。呼吸器疾患は全身疾患との関連でなかなか確定診断が得られない場合もありますが、非常勤のリウマチ科医師とも連携し格段に診断率が上昇しています。

日本神経学会専門医

末永 章人

すえ なが あき ひと

神経内科を受診する時の症状としては、下に挙げたようなものがあります。障害部位は脳から脊髄、脳神経、末梢神経、神経筋接合部、筋肉まで多岐にわたります。問診と診察所見から障害部位を推測し、諸検査を加えて病気を診断し加療していきます。対象となる疾患も多く代表的なものとしては、頭痛、脳血管障害、認知症、てんかん、髄膜炎・脳炎、末梢神経障害、パーキンソン病含む神経難病などが挙げられます。当院で行える検査としてはCT、MRI(VSDADによる脳萎縮評価含む)、脳血流シンチ(Z-SAM)などRI検査、筋電図/神経伝導速度検査などがあります。

神経内科を受診する時の症状

- 頭痛
- 物忘れ、ボーっとする
- 意識障害、けいれん
- しゃべりにくい・呂律が回らない、読めない、書けない
- しびれる・感覚が鈍い
- 力が入らない、手足が動かみにくい、うまく歩けない
- ふらつく、めまいがする
- 手足が勝手に動く、ふるえる
- まぶたが下がる、物が二重に見える
- 飲み込みにくい・むせる

日本超音波医学会

馬場 三男

ば ば みつ お

本年4月より、月曜日の超音波検査の担当として内科に勤務することになりました。これまで培ってきた超音波検査の知識を元に、市立八幡病院での超音波技師の育成、各科で担当している超音波検査のバックアップ、地域の開業医の先生方からの紹介に対応する更に充実した体制づくりをめざしています。

院内での実技講習会と技師の育成はすでに行われており、今後は積極的に地域からの依頼に応えていきたいと考えています。

肝障害患者さんの経過観察、胆嚢ポリープや脾臓嚢胞などの診断、急性腹症の超音波診断などは是非利用頂ければと思います。また八幡医師会の先生方への講習も今後医師会と協力して行っていく予定です。宜しくご利用ください。



ソフト食

栄養管理係 梅木 加寿子



栄養管理係では、食事の提供と栄養指導を主な業務として行っています。

患者様には、できるだけ手作りの食事を味わっていただけるよう、カレーライス等もルーから病院で作っています。また、高齢の患者様が多くなり、きざみ食のオーダーが増加してきたため、「ソフト食」を食種に加えています。すべての料理が刻まれて器に盛り付けられていると、何が何の食事がわからなくなります。その点ソフト食は、歯茎で噛める硬さで素材そのものが柔らかくなっています。例えば、常食がハンバーグの場合、ソフト食はハンバーグの中に山芋などを加え柔らかく焼

き上げ、さらにあんをかけるなど飲み込みやすくします。ほうれん草のお浸しは葉先だけを使い、煮浸しにします。野菜の煮つけ等は圧力釜で十分柔らかくなるまで煮ます。味を付けて煮た鮭をほぐし、形よく固めた煮魚や、うなぎ豆腐などは好評をいただいています。今後も医療の一環としての安全でおいしい食事の提供に努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。



放射線検査予約の土曜受付開始について

八幡病院放射線科では、連携医療機関の土曜診療に対応し、月～金曜日に行う検査の予約を、土曜日にも受け付けますのでご利用ください。

当院代表電話(093-662-6565)にご連絡いただき「放射線検査の予約」の旨をお伝えください。診療放射線技師を呼び出した後、対応します。

—— おねがい ——

土曜日は、放射線科の撮影受付及び病診連携室のスタッフがお休みです。患者様へはその場で予約日時をお伝えできますが、検査予約確認書のFAXが送信できません。FAXの送信は休日明けとなり、検査日は休日明けの次の日以降となります。また業務繁忙時(救命救急対応時等)、すぐに対応できない場合があります。その際は、折り返しご連絡差し上げますので、どうぞご了承ください。

受付時間
平日に加え
土曜日9:00～17:00

連携医療機関様

Tel

放射線検査の予約
医療機関名・患者氏名
検査予約日時・項目(内容)

Fax

患者事前連絡票
診療情報提供書

Fax

検査予約確認書
(休日明けに送信)

北九州市立
八幡病院
放射線科

Tel:093-662-6565
(代表)

Fax:093-662-1909
(医療連携室専用)

整形外科

救急医療とともに整形外科は発展してきました。今後も北九州市民の整形外科疾患(交通外傷・スポーツ外傷・労災事故・小児整形疾患・骨粗鬆症・大腿骨近位部骨折など)の診療に貢献していきます。

2014年度現在、整形外科は5名の医師が診療に当たっています。そのうち3名が日本整形外科学会専門医の資格を持っており、病院自体も日本整形外科学会の研修指定病院となっています。

骨折などの外傷に対する手術が主で、手術後のなるべく早い時期からのリハビリテーションを実施しています。救命救急センターを併設しているこ



とから、重症の骨折症例が多く、また、小児救急センターを併設していることから、小児の骨折症例が多いことが特徴と言えます。外傷に対しても、最近の手術方法、手術機器の進歩はめざましく、新しい手術手技を取り入れた手術を行っています。

医療連携室のご紹介

医療連携室

地域医療連携担当課長

崎田 幾子



当医療連携室は、室長(副院長)のもと、専従看護師3名、社会福祉士1名、事務職員4名の9名体制で、地域の医療機関や施設、行政との連携に努めています。また、医療相談窓口として患者さんやご家族等からの療養に関するご相談等をお受けしております。

当院は、開放病床を設けており、共同利用に129名の地域の先生方にご登録をいただいています。

また、平成26年7月より「とびうめネット」(福岡県医師会診療情報ネットワーク)に参加しております。若松区のかかりつけ医療機関と連携し、緊急時入院病院として当院に登録いただいている患者さんの情報共有を行っています。

さらに10月からは、在宅において療養を行っている患者さんを、緊急時24時間体制で受け入れる病院として「在宅療養後方支援病院」を取得いたしました。

今後も、地域包括ケアシステムの一端を担う急性期病院として、院内職員との協力のもと地域の医療機関および介護福祉施設等とのネットワークの強化に努めてまいります。今後ともご支援のほど、よろしくお願いいたします。

編集後記

私事ですが、昨年9月に救急功労者総務大臣表彰を頂き、今年1月に病院局長表彰、2月に北九州市長表彰を頂きました。平素より救急医療にご理解とご協力を頂いている医師会をはじめ関係機関の皆様方のお蔭と感謝しております。厚く御礼申し上げます。広報誌「さらくら」20号では、平成26年度から八幡病院内科に着任され

た、馬場先生、中村先生、川口先生をご紹介します。また、当院整形外科のスタッフ、栄養科から当院のソフト食について紹介しています。放射線科で行う検査予約が土曜日にも可能となりましたので、ぜひご利用下さい。なお、連携医療機関紹介コーナーは今回都合によりお休みさせて頂きました(広報委員会 委員長 伊藤重彦)。

診療体制

平成27年5月1日現在

科 名		受 付 時 間	月	火	水	木	金
内 科	呼 吸 器	8:00～11:00	吉田 有吾	吉田 有吾	伊藤 光佑	加藤 達治	吉田 有吾
	公費診療	13:00～15:30		(金曜午後のみ予約制)			吉田 有吾
	消化器		川口 浩太郎	千手 倫夫	下野 淳哉	川口 浩太郎	下野 淳哉
	超音波検査外来		馬場 三男				
	糖尿病	8:00～11:00	川口 真悠子	中村 寛	黒住 旭	中村 寛	松下 幸司
循環器内科	神 経 病			末永 章人			末永 章人
	膠原病						中野 久
	一般内科						当番 医 哉
	循環器全般		阪上 和樹	当 番 医	小住 乃理子	小住 乃理子	中野 久
	専門外来	8:00～11:00	小住 清志	太崎 博美利	原田 敬	太崎 博美利	田中 正仁
小児科	午後診(紹介予約のみ)	13:00～15:30	佐 貴 仁宣	中園 和利	眞 田 賢哉	眞 田 賢哉	小住 清志
	特殊外来	13:00～15:30	総合血管内科	脂質異常症	総合血管内科	脂質異常症	肺高血圧症
	診察室 1	8:00～11:00	市川光太郎	山根 浩昌	市川光太郎	山根 浩昌	市川光太郎
		13:00～16:00	外 傷 外 来		【午後は予約制】	外 傷 外 来	
	診察室 2	8:00～11:00	富田 一郎・石橋紳作	天本 正乃	天本 正乃	富田 一郎・石橋紳作	天本 正乃
		13:00～16:00					
	診察室 3	8:00～11:00	神 蘭 淳司	今村 徳夫	八坂 龍広	神 蘭 淳司	今村 徳夫
		13:00～16:00	アレルギー		血液腫瘍	アレルギー	神経外来(4W)
	診察室 4	8:00～11:00	小野 友輔	松島 卓哉	小野 佳代	松島 卓哉	小野 友輔
		13:00～16:00	夜尿症		内分泌(第2・4W)	夜尿症	腎 外 卓哉
外 科	診察室 5	13:00～16:00	山根 浩昌	石橋 紳作	今村 徳夫	小野 友輔	松島 卓哉
	処置室	13:00～16:00	往診・在宅		往診・在宅	往診・在宅	循環器
	乳幼児検診	【要予約】13:00～14:30		富田 一郎			(予防接種のみ)
	予 防 接 種	(第5週を除く)		富田 芳江			富田 一郎
	一般外科	8:00～11:00	野口 純也	伊藤 重彦	山吉 隆友	榊原 優香	伊藤 重彦
整形外科			上原 智仁		上原 智仁		野口 純也
	消化器・肝臓外科		岡本 好司	木戸川 秀生	岡本 好司	木戸川 秀生	山吉 隆友
	呼吸器外科			井上 征雄		澤田 貴裕	野々村 遼
	小児外科		新山 新	新山 新	新山 新	新山 新	
	外科外来は旧小児科外来へ移動しました。						
形成外科	整形 外科	8:00～11:00	杉山 健太郎	上戸 康平	鈴木 暢彦	上戸 康平	鈴木 暢彦
	脊 椎	14:00～16:00	飯田 健	辻 正二	飯田 政浩	杉山 健太郎	辻 正二
脳神経外科	形成 外科	8:00～11:00	今村 禎伸	田崎 幸博	今村 禎伸	今村 禎伸	田崎 幸博
	口唇裂・口蓋裂外来	8:00～11:00	諸岡 真	諸岡 真	今村 禎伸	田崎 幸博	諸岡 真
皮膚科	脳神経外科	8:00～11:00	越智 章	岩永 充人	福田 修志	越智 章	岩永 充人
			福田 修志				
	皮膚 科	8:00～11:00		立松 沙織		伊豆 邦夫	
	泌 尿 器 科	8:00～11:00	松本 博臣	松本 博臣	松本 博臣	松本 博臣	松本 博臣
	産婦人科	8:00～11:00	今福 雅子	今福 雅子	今福 雅子	今福 雅子	中島 大輔
	眼 科	8:00～11:00	板家 佳子	板家 佳子	板家 佳子	板家 佳子	板家 佳子
	耳鼻咽喉科	8:00～11:00	麻生 裕明	麻生 裕明	麻生 裕明	麻生 裕明	麻生 裕明
	精 神 科	8:00～11:00	白石 康子	白石 康子	白石 康子	白石 康子	白石 康子
	歯 科	00～11:00	岡上 明正	岡上 明正	岡上 明正	岡上 明正	岡上 明正
	放射線科						
超音波検査		8:00～12:30	馬場 三男	今福 義博	神崎 修一	今福 義博	今村 紹美
健康診断	消化管造影	(予約のみ)	今福 義博	今福 義博	今福 義博	今福 義博	神崎 修一
	ペインクリニック	8:00～11:00(月・木)	石田 昌一		金色 正広		
		8:00～10:30	内科・循環器内科	内科・循環器内科	内科・循環器内科	内科・循環器内科	内科・循環器内科

外科外来は旧小児科外来へ移動しました。

外来診療時間 初診・再診受付:午前8時~午前11時
※ただし急患はこの限りではありません

注:形成外科 水曜日の(偶)は偶数週(2・4週)、(奇)は奇数週(1・3・5週)の担当です。

第2夜間・休日急患センター

一般病院や診療所が診療していない時間帯に急患の診療を行う施設です。

診療科	診療時間
内科	平日 午後7:30~午後11:30
外科	日・祝祭日 午前9:30~午後11:30
整形外科	

※受付は診療終了時間の30分前までです。

救命救急センター

救急車で搬送、他病院からの紹介等で、重症患者の診療を行う施設です。

診療時間	24時間365日体制
診療科	●内科 ●外科 ●脳神経外科

小児救急センター

すべての小児急患(一次から三次まで)を24時間365日受け付けています。

診療時間	24時間365日体制
診療科	●小児科

北九州市立八幡病院

<http://www.yahatahp.jp>

〒805-0061 北九州市八幡東区西本町4丁目18-1
TEL (代表)093-662-6565 FAX 093-662-1796
(小児救急センター:093-662-1759)

八幡病院広報誌「さらくら」第20号

2015年5月15日発行

発行・編集:八幡病院広報委員会(年3回発行予定)

印刷:(株)小田印刷社 TEL 093-621-3381

ACCESS JR鹿児島本線:JR八幡駅から徒歩8分
西鉄バス:八幡駅前から徒歩5分
市立八幡病院前から徒歩1分

